

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008門第80号	
事故等種類	運航不能（バッテリー過放電）	
発生日時	平成20年12月4日 14時50分ごろ	
発生場所	山口県長門市仙崎地先青海島の竹ノ子岩北端から北200m付近 （概位 北緯34°26.1′ 東経131°10.1′）	
事故等調査の経過	平成20年12月8日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 遊漁船 <sup>きんじょう</sup>金城丸、2.94トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 291-272765山口、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 主機始動用バッテリーが過放電</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長が乗り組み、友人1人を乗せ、平成20年12月4日14時50分ごろ、竹ノ子岩北方付近で釣りを終え、帰港するために主機を始動しようとしたところ、主機始動用バッテリー（以下「本件バッテリー」という。）が過放電していたため、主機が始動できずに運航不能となった。</p> <p>本船は、巡視艇にえい航されて帰港したのち、友人が調査したところ、本件バッテリーから操縦盤に至る間の電気配線の被覆材が硬化して剥離し、芯線の一部が船体金属部と接地していることが判明し、修理された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南、風速 約5m/s、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m、うねり なし</p>	
その他の事項	本船は、1年前に本件バッテリーを新替しているものの、進水以来、電気配線の点検が行われておらず、接地していた箇所以外の電気配線も被覆材が硬化していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本件バッテリーは、電気配線の被覆材が経年劣化によって硬化して剥離し、芯線の一部が船体金属部と接地したため、過放電したものと考えられる。</p> <p>船長が、整備業者等に依頼するなどして、適切な時期に電気配線の点検を行っていれば、本インシデントは防げたものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、電気配線の被覆材が経年劣化によって剥離し、本船が竹ノ子岩北方付近で漂泊中、芯線の一部が船体金属部と接地して本件バッテリーが過放電したため、主機が始動できなくなったことにより発生したものと考えられる。	